

第36回全国都道府県対抗中学バレーボール大会

沖縄県選抜選手トライアウト ガイドライン

沖縄県バレーボール協会
指導普及委員会 中学部

参加者の健康と安全を最優先にするために、本ガイドラインに基づきトライアウトを行う。トライアウト期間は、各会場においてチェックリストを活用し感染拡大防止に努め、全ての参加者に健康チェックシートの提出を求める。

【開催にあたっての取り組み】

1 3密を回避するために

- (1) 各会場に感染対策責任者を任命する。
- (2) 練習会場(体育館内)への入場は、選手30名程度、各地区選考委員、沖縄県中学校バレーボール専門部運営委員、前回大会スタッフとし、無観客で行う。

2 消毒について

- (1) 会場出入り口に消毒用アルコール2本設置し入退場の際には手指消毒を行う。
- (2) 男女トイレにはポンプ式液体石鹸2本を設置し、手洗い後に手をふくためのペーパータオルを置く。トイレの出入り口にはアルコール消毒液2本を置く。
- (3) ボールやラインジャッジフラッグ、得点板など多数で使用する器具等は使用ごとに消毒を行う。
- (4) ボールやボールかごなど会場に持ち込む用具等は、入場前に消毒を行う。

3 クライシスマネジメントとして

- (1) 各会場に感染対策責任者を任命する。
- (2) トライアウト参加者全員の健康チェックシートを練習会開始前に提出する。
※提出がない者は入場できない
- (3) 会場ではマスクを着用する。但し、準備運動、練習中のマスク着用は無理に強要しない。
※指導者はマスクを着用する。
- (4) 保護者は、救護対応のために体育館の外で待機をし、体育館内への入場はできない。
- (5) 選手のトライアウト参加にあたっては参加同意書を提出させる。

4 練習会参加について

- (1) 下記に該当する場合は参加を認めない。
 - ① 陽性または濃厚接触となった選手・職員については、参加を認めない。
 - ② 出席停止、学級閉鎖、学年閉鎖、学校閉鎖に該当する者は参加を認めない。
 - ③ 当日の検温と風邪症状の確認において、発熱等の風邪症状(37.5℃以上の発熱や咳、呼吸困難、全身倦怠感、味覚障害、嗅覚障害等)がある場合。
 - ④ 地域の感染レベル2以上の地域では、家族に風邪症状がある場合も参加を認めない。
※参加については「学校の新しい生活様式」「県立学校における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」「沖縄県主催大会開催時の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」等を参照に、参加校の校長・引率者・保護者等による適正な判断をお願いします。

※役員として参加する場合は、各自で健康管理を徹底し、少しでも体調不良がある場合は無理をせず専門部へ連絡をし、自宅待機を行うこと。

4 その他

- (1) 審判用のホイッスルは、原則として電子ベルを活用する。電子ベルでない場合は、審判はマスクを着用し、飛沫の拡散防止に努める。
- (2) 本部には紙コップ等は準備しない。マイボトルの準備をお願いする。
- (3) 学校会場で使用した備品は、終了後消毒を行う。

【入場に関する配慮】

- (1) 屋内・屋外に関わらず、マスク着用を協力していただく。マスク着用を協力できない者は学校敷地内への入場は遠慮していただく。
- (2) 撮影したものをホームページ・ブログ・SNS・動画投稿サイト等、インターネット上にアップロードしないこと。(保護者・選手への周知を徹底する。)